

# 市民建産常任委員会

平成 31 年 1 月 11 日

委員長 高原 伸二

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、平成 30 年 10 月 30 日、31 日、12 月 5 日に、関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 建設産業部

### 下水道課

**下水道係より**、公共下水道事業について、農業集落排水事業（薦野・米多比地区）について、合併処理浄化槽設置促進事業について、公共下水道事業計画の変更について報告がありました。

**管理係より**、下水道事業への地方公営企業法適用について、薦野・米多比農業集落排水施設の接続状況等について、経営戦略の策定について報告がありました。

**その他として**、上下水道事業経営等審議会の報告について、上下水道の組織統合について説明がありました。

**委員から**、農業集落排水接続状況の当初計画との比較は、また、接続促進についての取組は、との問いに、当初計画より若干下回っている、新たな促進取組は模索している段階で、今後検討したいとのこと。

経営戦略の策定について、青柳、小竹地区の整備計画は、との問いに、平成 31 年度着工、37 年完了、経費 26 億円を予定し、単年度に費用が突出しないように、設計と工事を計画的に実施していきたいとのこと。

農業集落排水事業の経営戦略について、薬王寺地区の整備は、との問いに、平成 33 年度から 38 年度にかけて、現在、薦野・米多比の処理施設に接続する形で整備工事を予定しているとのこと。

経営戦略では、何年ごとの使用料金改定が想定されているのか、との問いに、経営戦略自体が 3 年から 4 年おきに見直しをすることになっているので、それに合わせて使用料の適正化に係る検討を行うとのこと。

### 水道課

**配水係より**、平成 30 年度の主要な事業について、水源別配水量比較について、古賀ダム貯水率推移表について報告がありました。

**管理係より**、上下水道の組織統合について報告がありました。

**給水係より**、給水停止の手續と現状について報告がありました。

**その他として**、水道庁舎執務室の改修に伴う九州産業大学との官学連携について、上下水道経営等審議会への報告について報告がありました。

**委員から**、上下水道の組織統合について職員体制は、との問いに、人事と絡む案件で業務の効率化、サービスの向上を含め、検討を進めている段階とのこと。

給水停止中の世帯が 7 月 6 件、9 月 5 件という報告だが、その人の生活状態は、との問いに、古賀市に契約はしているが生活実態が薄く、ほとんど水量を使っていないケースで生活に直接支障があるとは思っていないとのこと。

水道庁舎執務室の改修に伴う九州産業大学との官学連携についての経緯とタイムスケジュールは、との問いに、連携している九州産業大学の建築学部にフリーアドレスなどの新しい考え方も聞いてみてはどうかとなり、今協議を進めている。タイムスケジュールは、1 月に予算確保ができ次第、

リフォームをメインに工事に取りかかりたいとのこと。

口径別料金体系の導入についての考え方は、との問いに、その準備となる経営計画あるいは更新計画などを平成 31、32 年で策定した上で検討を深めたいとのこと。

## 商工政策課

**企業支援係**より、無料職業紹介所について、企業訪問活動について、福岡県 70 歳現役応援センター出張相談会の開催について、福岡県中高年就職支援センター出張個別就職相談会の開催について、工業力 PR 事業について報告がありました。

**商業観光係**より、消費生活センターについて、道の駅基本計画策定委託について、生産性向上特別措置法に基づく計画の認定状況について、まつり古賀の開催について、古賀よろず創業・経営相談窓口について、プレミアム商品券発行事業について報告がありました。

**物産振興係**より、古賀市ふるさと応援寄附について、古賀市ふるさと納税の偽サイトについて報告がありました。

**委員**から、企業訪問活動について現状説明を、との問いに、平成 29 年 6 月末から、自動車関連、食品加工業、運輸業等を中心に実質 13 社に延べ 28 回訪問している。古賀市への進出の感触は運輸業、倉庫業等はできるだけ早く、製造業は、中長期的なプランの中で投資を行っていく傾向にある。成果としては、古賀市へ現地視察に来た会社が 4 社ある事が挙げられるとのこと。

企業立地ガイドブックについて、玄望園 A 地区、B 地区の現状は、との問いに、A 地区は引き合いが随分来ていて売買上の総面積の 3 倍程度の手は挙がっているが、B 地区については今後、てこ入れが必要だと報告を受けているとのこと。

開発を検討している今在家・新原高木地区の紹介の仕方については、との問いに、今後、行政手続をクリアした上で造成が可能になると前置きをした上で、行政手続に 5 年から 7 年ぐらいが必要だと紹介しているとのこと。

道の駅基本計画策定委託についてコンセプトの協議は、との問いに、委託事業者と市で意見交換をしながら、市の強み、コスモス館の弱みを踏まえ、どのような機能を追加したらいいのか検討しているところとのこと。

日本オープンゴルフ大会が古賀ゴルフ場で開催される件について進捗状況は、との問いに、古賀ゴルフ場から古賀市に協力要請が来ており、数回にわたり駐車場の確保、ししぶ駅から古賀ゴルフ場までの歩行者の安全確保、ボランティアの確保等の協議をしているとのこと。

古賀市ふるさと納税の偽サイトについて、被害者を出さないようにするには啓発しかないのか、との問いに、日本国内のサーバーであれば削除が可能だが外国経由は削除ができないので、マスコミに取り上げてもらいながら、古賀市のホームページでの注意喚起を続けていくしかないとのこと。

## 都市計画課

**都市計画係**より、平成 30 年度公園工事（6 件）について、市内公園遊具点検業務委託について報告がありました。

**開発指導係**より、青柳採石場跡地開発について、町川原 1 区区域指定について報告がありました。

**土地利用政策係**より、景観計画策定事務について、古賀の魅力再発見コンテスト受賞作品の展示について報告がありました。

**古賀駅周辺開発室**より、古賀駅周辺整備事業について、平成 25 年度から 29 年度までの経緯と今年度の取組について報告がありました。

**委員**から、景観計画策定事務について、一定の強制力を持ったルールを定めるとうたわれている、一定の強制力を有するルールを設けるということは、条例の制定が必要になってくると思うが、景観計画に関連した今後の予定は、との問いに、次の定例会で古賀市景観条例を提案したいと考えて

いる。屋外広告物条例については、今現在、福岡県の屋外広告物条例の適用を受けているところだが、これを古賀市にあったものに制定したいと考えているとのこと。

古賀駅周辺整備事業について、所管部署が経営企画課から都市計画課へ移行した理由は、との問いに、経営企画課で大きな事業化に向けた検討をしていた中において、大きな問題となる土地利用の方向性や都市計画道路の具体的な検討を進めていく段階に入ってきたので、都市計画課に移行し室を設置して土地利用の検討等を進めている。平成 33 年度を目途に都市計画決定の必要な変更決定を行っていききたいとのこと。

駅を中心とした 3 号線や 495 号線とのアクセス等、古賀市全域を考えた全市的な動線の議論がなされたのか、との問いに、駅周辺エリアだけの検討はなされたが、3 号線、495 号線を含めた全市的な動線の計画、検討は無かったとのこと。

## 建設課

土木係より、公共土木事業について報告がありました。

管理係より、県事業工事予定箇所について報告がありました。

地籍調査係より、地籍調査事業について報告がありました。

委員から、地籍調査事業について、いつが完了予定なのか、との問いに、当初 20 数年から 40 年の予定で平成 25 年に始めた事業であるが、今のところ平成 50 年前後になるのではないかと考えているとのこと。

平成 30 年 10 月 28 日に行われた西鉄宮地岳線跡地の説明会の状況は、との問いに、古賀市の車道をつくる考え方が理解いただけなかったので、今後、説明会、意見交換会をどうするのかを改めて所管課で考えていくとのこと。

## 農林振興課

農林振興係より、農業振興費関連について、森林保全費関連について報告がありました。

農政係より、農業委員会費関連について、農業振興費関連について報告がありました。

農林土木係より、農地費関連について、農業用施設災害復旧費関連について、林道災害復旧事業費関連について報告がありました。

## 市民部

### 環境課

環境整備係より、第 2 次古賀市環境基本計画について、地球温暖化対策に関する取組について、グリーンカーテンの匠事業について、飼い主のいない猫に関する取組について、市内事業所における井戸の水質基準超過について、畜犬について報告がありました。

資源循環推進係より、循環型社会形成推進事業から、家庭系ごみ、事業系ごみについて、食品ロス対策について報告がありました。

海津木苑より、平成 30 年度海津木苑処理状況について、平成 30 年度海津木苑施設機器整備工事について、海津木苑施設等啓発について、次期し尿処理施設について報告がありました。

委員から、8 月に市内事業所の井戸から水の汚染が確認されたが、その後の取組は、との問いに、最終的に、一般住宅 20 戸、事業所 20 件の水質調査を行い 2 ヶ所から検出されたが、発生源の特定には至っていない。いずれも飲用には使用しておらず、現在まで健康被害の相談はない。今後は水道への転換を推奨し、当面の間付近の水質調査を実施するとのこと。

畜犬について、狂犬病予防の注射率が約半分しかないが、との問いに、ここ 5 年間は、61%から 67%の間で推移しており全国でも福岡県の注射率は低いと課題になっている。今後、関係機関と協力しながら、啓発を進めていきたいとのこと。

地球温暖化対策に関する取組について、安定的な職場環境をつくっていく関係性については、との問いに、地球温暖化対策に関する取組は、地球温暖化対策等実行委員会で取組を協議し進めている一方、職場環境の改善については労働安全衛生委員会で、職員の労働、環境面について進めている。各委員会で出た情報をすり合わせ、無理のない範囲で地球温暖化対策について取り組んでいくとのこと。

自治会に加入していない市民の分別収集について現状は、との問いに、地域で行っている月1回の分別収集は、自治会に加入、未加入関係なく地域の協力で行っていただいている。また、月に3回エコロの森で無料分別収集を行っているので、地域の分別収集に出せなかった市民は、そちらを利用していただいているとのこと。

ししぶ駅、権現（ごんげん）公園でのセアカゴケグモ大量発生の現状は、との問いに、ししぶ駅周辺は発見数も少なく、駆除後は発見の通報もないので心配はないと考えている。権現公園では、大量の成虫と卵が発見され定着が考えられるので、管理者の都市計画課で公園内の側溝、樹木、生息しそうなところの消毒を行った。今後しばらくの間は、都市計画課、環境課で協力しながら、点検を行っていききたいとのこと。

## 市民国保課

**市民係より**、人口について、外国人国籍別人口について、個人番号カード交付枚数・コンビニ交付サービス利用実績について報告がありました。

**国保係より**、国民健康保険世帯数等について、平成29年度と30年度を比較しての報告があり、しばらくは減少傾向が続くとの報告がありました。

**年金・医療係より**、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障害者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数について報告がありました。

**委員から**、コンビニ交付サービスについて、窓口業務の負担は軽くなったのか、との問いに、コンビニ交付利用者が少なく、窓口業務への影響は出ていないとのこと。

## 収納管理課

**収納管理係より**、平成30年度市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の9月末日現在の収納状況について、平成30年度滞納処分状況について報告がありました。

## 市税課

**市民税係より**、自分で確定申告書を作成するためのパソコン教室の開催について、税を考える週間について報告がありました。

## 人権センター

**人権教育・啓発係より**、人権尊重週間の取組について、人権相談事業について、人権関係団体活動推進事業について報告がありました。

**委員から**、そうだん5（ファイブ）の相談内容は、との問いに、一番多いのが、家族、家庭の関係で、次に近隣トラブルとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。